

部局名	子ども部	所属名	子育て支援課	所属長名	野口 啓子	電 話	483-1151 内線2270
-----	------	-----	--------	------	-------	-----	-----------------

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード	3174		事務事業名称	児童会館運営事業					短縮コード	経常	3174	臨時	3175
予算区分	会計	01	一般会計	款	03	民生費	項	02	児童福祉費	目	06	児童福祉施設費	
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他			根拠法令等		八千代市児童会館条例，八千代市児童会館条例施行規則							
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）													
昭和48年，コミュニティー施設を求める地域住民の要望により開始し，学童保育所や幼児教室の実施場所を提供している。													
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系	5本の柱（章）	01	健康福祉都市をめざして						
社会環境の変化により，子どもの居場所が減ってきているので，児童館設置への要望は年々強まっている。					大項目（節）	02	社会福祉						
					中 項 目	01	児童福祉						
					小項目（施策）	02	児童の健全育成の推進						
					細 項 目	02	子どもの居場所の整備						
				実 施 計 画 の 計 画 事 業									
計画事業の位置付けの有無			☐	計 画 事 業 期 間		昭和48年4月 ～			計 画 事 業 費		千円		

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	市内に居住する満3歳以上満15歳未満の者。							
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成21年度に実際に行ったこと： 児童会館の使用許可，建物管理, 管理指導員の労務管理。							
	※平成22年度に計画していること： 児童会館の使用許可，建物管理, 管理指導員の労務管理。							
意図 （何を狙っているのか）	児童の心身の向上と健全育成を図る。							
ねらい（上位施策の意図）	入力対象外							
区 分				単位	20年度	21年度		22年度
					実績	計画	実績	計画
対象指標	指標1	市内に居住する満3歳以上満15歳未満の者の数	人	23,605	23,700	23,754	23,904	
	指標2	児童会館の数	館	4	4	4	4	
	指標3							
活動指標	指標1	建物の修繕額	円	164,178	200,000	186,322	200,000	
	指標2	管理指導員の雇用数	人	7	7	7	8	
	指標3							
成果指標	指標1	児童会館の利用決定日数	日	1,396	1,400	1,401	1,401	
	指標2							
	指標3							
上位成果指標	指標1							
	指標2							
	指標3							

コード	3174	事務事業名称	児童会館運営事業				所属名	子育て支援課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☐ 改革・改善して継続			社会環境の変化により、子どもの居場所が減少傾向にあり、今後も引き続き事業を継続する。 。なお、児童会館の利用者が、子ども以外の利用が主となっている施設もあり、今後、管理の形態の変更などについて検討が必要と思われる。			
		☐ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
☐ 廃止・休止								
☐ 事業完了								
☒ 現状のまま継続								
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			管理指導員は、臨時職員で対応し、必要最小限の経費で運営している。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☐	☐		
			不 変	☐	☒	☐		
			低 下	☐	☐	☐		

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
本市の児童会館は児童福祉法に基づく児童館ではないため、児童厚生員による児童の健全育成を図るための適切な遊びを教えることができていないので、児童館の設置が望まれている。									

所属長コメント	今後も地域における児童健全育成の拠点として、引き続き事業を実施していく。								
評価調整委員会評価	☐ 改革改善して継続			担当課の評価のとおり、現状のまま継続とする。 但し、民間施設の運営等については、検討すべき。					
	☐ 手法プロセスの改革・改善								
	☐ 事業規模の拡大・縮小								
	☐ 統合・役割見直し								
☐ その他									
☐ 廃止・休止									
☐ 事業完了									
☒ 現状のまま継続									